

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	追分宿における「アーティスト・イン・レジデンス2」
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人油やプロジェクト
事業区分	(3) 教育、文化・スポーツの振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,332,800円 (うち支援金: 1,749,000円)

事業内容

- 1 「アーティスト・イン・レジデンス2」
各種の芸術制作を行うアート作家を軽井沢町追分地区に招聘し、信州追分の文化と歴史を題材とした作品制作を行ってもらう。
- 2 ワークショップの開催
芸術制作を行うアート作家や作品制作と関連したワークショップ(WS)等を開催
- 3 広報誌の発行
「アーティスト・イン・レジデンス」活動と平行して広報誌を発行し、事業のPRと作品テーマ・題材となる地域の文化、歴史などの紹介を行う。



【作品制作とワークショップ風景】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 1 歴史回廊アートとしてワイヤー作品と書画、さらに版画作品8点を「油や」館内に展示、地域住民、旅行者など多数来場があり、地域の賑わいに貢献できた。
- 2 回廊アート作家が追分に滞在している時に合計3回のワークショップ(WS)を開催、老若男女幅広い参加者があって地域の歴史・魅力を体験、感じてもらえるイベントとして、大好評であった。
- 3 広報誌によって追分地域の魅力を掘り起こすこと、本事業のPR、作品テーマ・題材となる地域の文化、歴史などの紹介が効果的に実行できた。

【目標・ねらい】

- ①地域の歴史的建物を有効活用
- ②地域の魅力をアートで再認識
- ③賑わい・来館者増加
- ④地域の特色を知らせる情報活動

※自己評価【A】

【理由】 計画した事業内容を質の高い内容で実行、制作したアート作品・広報誌の評判も良く、事業を継続していく基盤を積み上げることが出来たと考えます。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

歴史回廊アート作家の作家ネットワーク、そして関西の版画作家2名が「油や」に来て作品制作をするという繋がりが出来た。「油や」のギャラリー展示を見た来館者などからも好意的な意見を頂くこと多かった。歴史遺産である旧旅館建物を有効活用する手段として「アーティスト・イン・レジデンス」事業をの作品範囲を広げ、来年以降も継続し発展・定着させる方針。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある